

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日		2025年 2月 26日	
児童発達支援事業所キッズサポートてみる					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		学習室、運動室ともに十分な広さを確保し、各部屋の広さに合った活動を実施しております。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		理学療法士、保育士、児童指導員など基準にのっとり配置しております。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		体を動かす部屋と机上活動の部屋を分けており、子どもたちにとって気持ちを切り替えやすい構造となっております。視覚的刺激を減らし活動に取り組みやすい環境となるよう配慮しております。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		療育前・午前療育後・午後療育後に清掃しており、使用した教具・設備に関しては基準を満たしたもので消毒を行っています。また怪我等の危険がないよう安全に配慮した空間での支援を行っております。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別療育を行う部屋を用意しています。子どもたちの情緒面や実施する課題によって個室を使用しています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		定期的にミーティングを行っており、意見交換を行っております。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年評価を実施し、いただいたご意見等をもとに改善していけるよう努めております。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日定時のミーティングにて意見交換を行っており、情報共有ツールを活用して内容の周知を行っております。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	今年度は第三者による外部評価は行っていません。	これまでに受けた外部評価や監査でのフィードバックをもとに改善した内容にて継続して取り組んでおります。必要に応じて実施を検討してまいります。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		動画講座での研修を全員が受講するよう計画しております。支援に関する専門書も整備しており、支援の質向上に努めております。 <small>外部研修も職員の要望に応じて参加しております。</small>	動画研修・専門書での学習以外にも研修会の開催など職員の要望も踏まえ、今後実現に向けて取り組んでまいります。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		手引きにのっとり支援プログラムを作成・公表しております。また見学や面談時に5領域に沿った支援プログラムのご説明を実施しています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		モニタリングの際に十分な聞き取りを行い、アセスメントを踏まえたうえで子ども・保護者の要望を生かした支援計画を作成しております。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者が作成を進めるにあたり、ミーティング内で支援者の意見を聞き取り必要な支援を計画に反映させています。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		ミーティングにて子どもたちの課題や支援方法についての共有認識を図っています。また情報共有ツールを活用してすべての職員への周知を行っています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		標準化されたアセスメントツールを使用し、利用児の実態把握に努めております。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインの趣旨にのっとり、計画書にも選択した項目を明記したうえで具体的な支援内容を設定しております。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		検討会を実施して事業所としての活動プログラムを決定しています。プログラムの各単位の活動に関しては担当制としており、担当職員が中心となりプログラムの目的に沿った活動の立案を行っております。	各プログラム単位で担当職員を設定しておりますが、より幅広い視点での支援ができるようチーム内で意見交換をしながら活動プログラムの立案ができるよう改善を図ってまいります。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		利用児や曜日を考慮し、実態に合った活動の提供となるようにしています。プログラム内の各活動は固定化しないよう活動にバリエーションを持たせています。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		集団活動と個別活動、それぞれの活動において個々に合った目標を設定しながら支援を行っております。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼時や毎日の定例ミーティングにて、必要な情報を周知し共通認識をもって支援にあたっております。また活動内容や担当を社内の連絡ツールで事前に共有したうえで支援活動を行っています。	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	毎日の定時ミーティング時に振り返りを行い、気づいた点を共有するとともに改善点を話し合いながら次の支援に活かせるように努めております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	毎日業務日誌やアセスメントツールに記録を残し、検証・改善等を図っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	6カ月に1回のモニタリングを行い計画の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	管理者または児童発達支援管理責任者が参画しております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	必要に応じて情報を共有し、支援を行っております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	保護者の方からの依頼に応じて情報共有を行っています。必要に応じて利用児の通園先への訪問もしており、関係機関の見学の受け入れも行ってあります。また、移行支援に関わらず直接お会いした際などには随時情報交換を行っております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	移行支援シートを活用して現在行っている支援の内容や配慮すべき点について情報をお伝えしております。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。	—	—	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。	—	—	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	—	—	
	31	(31は、事業所のみ回答)			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○	今年度においての実施はございませんでした。	必要に応じて関係機関との連携を図ってまいります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○	現在交流や活動は行っておりません。	感染症拡大のリスクを考慮し交流などは行っておりませんが、ご利用者様のご要望や社会状況を鑑みて柔軟に検討してまいります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	毎日療育終了後にその日の様子を文章と写真にて連絡帳アプリを活用して報告しています。また送迎時に直接お会いする保護者様への報告も実施しています。保護者様からの情報も積極的に聞き取りながら共通理解を図っております。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	実施してはおりませんが、連絡帳アプリでのやり取りにて情報提供を行っております。また保護者様からのご相談に随時対応する形で支援を行っており、ご相談内容によって必要と思われる情報や資料等を提供しています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	契約時に管理者より説明を行っております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	児童発達支援管理責任者より面談時に確認しております。	
保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○	児童発達支援管理責任者が個別支援計画書を作成し、保護者様に説明ののちにサインと押印をいただいております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	保護者様からのご相談があった際には職員間で共有し対応を検討して回答を行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	現在は実施しておりません。	ご利用者様のご要望や社会状況を踏まえて、今後機会の創出を検討してまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	ご利用者様や保護者様からのご相談等に関しては電話や面談にて迅速かつ適切に対応するよう努めております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	お知らせ等に関しては連絡帳アプリを活用して随時行っております。活動概要に関しては見学時にご説明を行っており、毎日の活動後には各活動の様子を写真にてお送りしております。	

非常時等の対応	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	職員への守秘義務の徹底を行い、外部への情報提供に関しては保護者様へ同意を得たうえで行ってまいります。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	子どもたちに関しては個々に必要な視覚支援などを行っております。またその日の活動をホワイトボードに掲示して理解しやすいよう配慮しております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	現在は実施しておりません。	社会情勢を念頭に置いたうえで検討してまいります。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	各マニュアルは閲覧できるよう事業所内に配置しております。	保護者様への周知が十分でないため、来所時に確認しやすい場所へ配置するなど今後改善を行ってまいります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	BCPの策定・訓練の実施を行っております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	契約時に聞き取りを行い記録を残し、必要な場合において職員全体で把握しております。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	食事提供は行っておりませんが、契約時に聞き取りを行っております。 療育中に配慮が必要なことに関しましては、事前に聞き取りを行い情報共有を行っております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	安全計画の作成、必要な研修等の実施を行っております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	必要に応じて連絡帳アプリを活用して情報発信を行っております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	ミーティング内での周知、回覧・ファイリングにて情報共有を図っております。	報告書の作成基準を厳密化し、報告漏れのないよう改善してまいります。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	年1回研修を実施し、虐待防止に向けて取り組んでおります。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○	契約時、必要に応じて同意書へのサインをいただくことを説明しております。また対象児がいる場合には個別支援計画書への記載を行う予定です。		